

●瑞西國

○在本邦獨逸國人ノ利益代表事務引繼 千九百十七年二月八日以来在本邦瑞西國公使館ノ取扱ヒタル本邦在住獨逸國人ノ利益代表事務ハ八月十日本邦駐劄獨逸國代理公使ニ引繼キタル旨瑞西國臨時代理公使ヨリ同日附テ以テ通知アリタリ

●チエックスロヴァツク國

○商務官解任 「ブラーグ」へ出張中ナリシ在本邦「チエックスロヴァツク」國公使館附商務官「ジエアン、レツツル」今般本國政府ヨリ召還セラレタル旨同國公使館ヨリ九月二日附テ以テ通知アリタリ

○職務進退

●歸朝ヲ命ス (三月二十四日) 外務書記生 高橋 隆司
●分任出納官吏ヲ命ス (五月一日) 大使館一等書記官 吉田 茂
●歸朝ヲ命ス (五月五日) 特命全權大使子爵 珍田 捨己
●平和條約實施委員被仰付 (五月三十一日) 副領事 川西 豐藏
文部書記官 栗屋 謙

(各通)

農商務省保險事務官 高橋 武美

稻垣 守克
大澤 章

●平和條約實施委員被免 (以上六月三十日) 外務書記生 石 黒 璋
●歸朝ヲ命ス (七月一日) 大使館二等書記官 上田 仙太郎
●英國へ出張ノ件許可ス (七月二日) 遠藤 文七
●雇ヲ命ス 雇 遠藤 文七
●通商局第三課勤務ヲ命ス (以上七月二十日) 外務屬 齋藤 三郎治
●給七級俸 外務書記生 齋藤 三郎治
●齊々哈爾在勤ヲ命ス 外務屬 岡田 保之
●給八級俸 外務書記生 岡田 保之
●重慶在勤ヲ命ス (以上七月二十三日) 外務書記生 岡田 保之
●平和條約實施委員被仰付 大久保 利賢
●平和條約實施委員被免 (以上七月二十六日) 勳五等 巽 孝之丞
●歸朝ヲ命ス (七月二十九日) 外務書記生 大久保 一喜

●平和條約實施委員附ヲ免ス

外務書記生 渡邊龜太郎

大熊與吉

田代重德

(各通)

水野伊太郎

千葉榮一

武藤義雄

成瀬俊介

●敘從七位

(各通)

囑託 好富正臣
囑託 佐藤健二

●囑託ヲ解ク(以上七月三十一日)

●平和條約實施委員附ヲ免ス

海軍技手 山本松藏

●平和條約實施委員被免

海軍少將 飯田久恒

●平和條約實施委員被仰付(以上八月一日)

海軍大佐 小林躋造

●海防地方調査事務ヲ囑託ス(八月二日臺灣總督府)

中村 修

●囑託ヲ解ク(八月四日)

囑託 寺島頼三

●臨時平和條約事務局事務ヲ囑託ス
月手當二十五圓支給(八月六日)

濱田敏夫

●任外務省事務官
●敘高等官五等

大使館三等書記官從六位 白鳥敏夫

●賜三級俸
●政務局第二課勤務ヲ命ス

外務省事務官 白鳥敏夫

(各通)

外務省事務官從六位 西澤義徵
外務省事務官從六位 芝辻正晴

●任大使館三等書記官
●敘高等官五等

●賜二級俸
●英國在勤ヲ命ス

大使館三等書記官 西澤義徵

●賜二級俸
●米國在勤ヲ命ス

大使館三等書記官 芝辻正晴

●任副領事
●敘高等官七等

外務書記生勳七等 內藤啓三

●賜三級俸
●ホノルル在勤ヲ命ス

副領事 內藤啓三

●兼任內務書記官
●敘高等官五等(以上八月七日)

外務事務官從六位 渡邊二郎

●警保局勤務ヲ命ス(八月七日內務省)

內務書記官 渡邊二郎

(各通)

●臨時條約改正調査委員會委員被仰付

農商務次官 田中隆三
農商務省商務局長 鶴見左吉雄
特許局長 宮内國太郎

●臨時條約改正調査委員會委員被免 (以上八月七日内閣)

農商務省山林局長 中井勵作

●歸朝ヲ命ス

公使館三等書記官 天羽英二

●山形、青森、岩手、北海道ノ一廳三縣へ出張ヲ命ス

代表者隨員 吉阪俊藏

●任外務屬
給十級俸

荒木正明

●臨時調査部勤務ヲ命ス (以上八月九日)

外務屬 荒木正明

●哈爾濱へ轉學ヲ命ス

外務省留學生 中田吉太郎

●長春在勤ヲ命ス

外務書記生 小柳雪生

●滿洲里、海拉爾へ出張ノ件許可ス (以上八月十日)

副領事 山崎誠一郎

●外務省事務ヲ囑託ス
月手當百八十圓支給

澤田謙

●臨時平和條約事務局第一部勤務ヲ命ス

囑託 澤田謙

朝鮮總督府遞信技師 大賀文喜

●在安東領事館船舶檢查事務ヲ囑託ス (八月十一日)

外務事務官 柴山雄三

(各通)

外務書記官兼外務事務官從五位勳四等 木村銳市
外務書記官兼外務大臣祕書官從五位勳五等 青木新

●兼任外務省參事官
敘高等官三等

外務書記官正六位勳五等 澤田節藏

(各通)

外務事務官正六位勳六等 伊藤述史
外務書記官兼外務事務官農商務書記官正六位 武富敏彦

●兼任外務省參事官
敘高等官四等

領事兼外務省事務官從六位勳六等 重光葵

●任外務省參事官
敘高等官五等

重光葵

●賜四級俸
通商局兼勤ヲ命ス

外務省參事官 重光葵

●任外務事務官
敘高等官七等

佐島忠夫

●賜十級俸
臨時調査部勤務ヲ命ス (以上八月十二日)

外務事務官 佐島忠夫

● 平和條約實施委員被免 (八月十二日內閣)

陸軍歩兵大佐 永井 來

● 國際労働審理委員會ニ於ケル中立ノ地位ニ在ル者ニ指名ス

勳二等 鎌田 榮吉

● 國際労働審理委員會ニ於ケル使用者ノ代表者ニ指名ス

正六位 武藤 山治

● 國際労働審理委員會ニ於ケル労働者ノ代表者ニ指名ス (以上八月十三日)

榊本 卯平

● 神奈川縣下へ出張ヲ命ス (八月十四日)

外務大臣秘書官 堀 義貴

● 哈爾濱在勤ヲ命ス

外務通譯生 樫村 武雄

● 在鐵嶺領事館海龍分館主任ヲ命ス

外務書記生 淺山 龍二

● 在安東領事館通化分館主任ヲ命ス

外務書記生 本田 選

● 管内出張ノ件許可ス

外務書記生 北澤 泰三

● 巡查一名隨伴白音太來へ出張ノ件許可ス

領事 池部 政次

● 鐵嶺外二箇所へ出張ノ件許可ス

外務通譯生 小池 勇太郎

● 歸朝ヲ命ス

外務書記生 西岡 秀治郎

● 在安東領事館通化分館主任ヲ免ス

外務書記生 山瀬 悟一

● 在鐵嶺領事館海龍分館主任ヲ免ス

外務書記生 高井 末彦

(各通)

陸軍歩兵大佐 馬淵 直逸

陸軍歩兵少佐 田中 稔

陸軍歩兵大尉 安井 藤治

陸軍砲兵大尉 藤江 惠輔

● 外務省事務ヲ囑託ス

平和條約實施委員 小林 宗之助

(各通)

囑託 田中 稔

囑託 安井 藤治

囑託 藤江 惠輔

● 分任出納官吏ヲ命ス (以上八月十六日)

● 任外務屬
給十級俸

石塚 剛正

● 政務局第二課勤務ヲ命ス

外務屬 石塚 剛正

● 任外務屬
給九級俸

北川 純一

● 大臣官房會計課勤務ヲ命ス

外務屬 北川 純一

● 赴任ノ途次リオデシヤネロへ立寄ヲ命ス

外務書記生 五反田 貴己

- 伯國在勤ヲ命ス 外務書記生 早尾季鷹
- 朝鮮咸鏡南道へ出向ヲ命ス 外務省警部 田口禎憲
- 歸朝ヲ命ス 公使館三等書記官 岩手嘉雄
- 地方出張ノ件許可ス 外務省留學生 天田六郎
- 賜暇歸朝ノ件許可ス (以上八月十七日) 領事 野田良治
- 外務省事務ヲ囑託ス 鑛務監督官 淺利順四郎
- 栃木縣下へ出張ヲ命ス 外務大臣祕書官 堀義貴
- 歸朝ヲ命ス (以上八月十八日) 外務書記生 佐々木高義
- 給五級俸 桑折鐵次郎
- 大臣官房電信課勤務ヲ命ス (以上八月十九日) 外務屬 桑折鐵次郎
- ニコラエウスク在勤ヲ命ス 外務通譯生 鈴木福治
- 南京在勤ヲ命ス 外務通譯生 宮地三吉郎
- 敘從六位 正七位 藪野義光
- 賜暇歸朝願ノ件許可ス 公使館二等通譯官 川角忠雄
- 歸朝ヲ命ス (以上八月二十日) 領事 佐々木靜吾
- 任外交官補 外務省事務官從七位 日高信六郎
- 敘高等官七等

- 賜三級俸 外交官補 日高信六郎
- 佛國在勤ヲ命ス 領事官補 大熊與吉
- 任外交官補 敘高等官七等 外交官補 大熊與吉
- 賜三級俸 支那在勤ヲ命ス 外務省警部 千田清三郎
- 歸朝ヲ命ス 海外駐劄財務官 森賢吾
- (各通) 大使館二等書記官 齋藤博
- 瑞西國「ジュネーヴ」ニ於テ開催ノ賠償問題ニ關スル會議ニ於ケル帝國政府ノ代表委員被仰付 大藏事務官 關場偵次
- 瑞西國「ジュネーヴ」ニ於テ開催ノ賠償問題ニ關スル會議ニ於ケル帝國政府ノ專門委員被仰付 大藏屬 山路鎮夫
- (各通) 財務書記 後藤嘉一
- 瑞西國「ジュネーヴ」ニ於テ開催ノ賠償問題ニ關スル會議ニ於ケル帝國政府ノ代表委員附ヲ命ス

●在哈爾濱總領事館警察署長ヲ命ス

外務省警部 千田清三郎

●在南京領事館警察署長ヲ命ス(以上八月二十三日)

外務省警部 永松喜平

●國際勞働理事會ニ於ケル帝國政府代表者附ヲ命ス

外務屬 高橋祐治

●任外務屬
給六級俸

野原英麿

●臨時調查部勤務ヲ命ス
大臣官房會計課兼勤ヲ命ス

外務屬 野原英麿

●英國經由「シネーグ」へ出張ヲ命ス

嘱託 淺利順四郎

(各通)

公使館三等書記官 栗原正

公使館三等書記官 村井倉松

外務書記生 大谷二郎

●歸朝ヲ命ス

●依願雇ヲ免ス(以上八月二十四日)

雇 山口直治

●外務省事務ヲ嘱託ス
月手當二百圓支給(八月二十五日)

杉田義雄

●在支那帝國公使館醫務ヲ嘱託ス
手當年額二千八百圓支給

陸軍三等軍醫正 簡野松太郎

●雇ヲ命ス
月俸三十六圓給與

柴宮守眞

●大臣官房人事課勤務ヲ命ス

雇 柴宮守眞

●任外務省參事官
敍高等官二等

勳四等 林毅陸

●賜一級俸

外務省參事官 林毅陸

●依願嘱託ヲ解ク

嘱託 中村榮治

●外務省事務ヲ嘱託ス
月手當百圓支給

重松宣雄

●臨時平和條約事務局勤務ヲ命ス(以上八月二十六日)

嘱託 重松宣雄

●大正九年九月一日以後當分月俸ノ給與ヲ停止ス

雇 近藤博隆

●物品會計官吏交替ニ付検査官吏ヲ命ス

外務屬 田中末雄

●雇ヲ命ス
月俸四十六圓給與

村田龜八

●大臣官房會計課勤務ヲ命ス

雇 村田龜八

●兼任外務省警視
敍高等官六等

朝鮮總督府道警視 陸軍憲兵大尉從六位勳五等 末松吉次

●問島在勤ヲ命ス

外務省警視 末松吉次

●外務省物品會計官吏ヲ免ス

外務書記生 岡田保之

● 外務省物品會計官吏ヲ命ス (八月二十七日)

外務屬 岩上 德藏

● 臨時手當トシテ金三百圓支給

國際理事會ニ於ケル帝國代表者 犬塚勝太郎

● 局子街へ出張ノ件許可ス

領事 堺 與三吉

● 臨時平和條約事務局事務ヲ囑託ス
月手當五十五圓支給

小暮 和男

● 依願雇ヲ免ス

雇 白井 健

村松 薫

吉浦 盛純

會田 慶佐

石井 省三

白井 健

楠 太郎

清水 忠藏

● 外務省留學生ヲ命ス

● 海牙へ留學ヲ命ス

外務省留學生 村松 薫

● テヘランへ留學ヲ命ス

外務省留學生 吉浦 盛純

(各通)

● サンパウロへ留學ヲ命ス

外務省留學生 會田 慶佐
外務省留學生 楠 太郎

● ペトロバブロフスクへ留學ヲ命ス

外務省留學生 石井 省三

● 赤峯へ留學ヲ命ス

外務省留學生 清水 忠藏

● 馬德里へ留學ヲ命ス

外務省留學生 白井 健

● 管内出張ノ件許可ス

領事 中村 修

(各通)

外務省警部 基 治清

● 鐵嶺へ出張ノ件許可ス (以上八月二十八日)

外務省警部 是枝 幸吉郎

● 戰時保險局官制八月二十八日限り廢止ニ付外務省事務官兼外務事務官戰時保險官石井銀彌ハ廢官ト爲レリ

領事官補 渡邊 信雄

● 文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス

● 任領事官補
敍高等官七等

外務事務官兼外務省事務官從七位 七田 基玄

● 賜二級俸

領事官補 七田 基玄

●臨時調査部勤務ヲ命ス

●免兼官

外務事務官 福間 豐吉
外務事務官 兼外務省事務官 從七位 山本 熊一

(各通)

從五位勳六等 堀 義 貴

●敍勳五等授瑞寶章

從七位勳六等 川角 忠 雄

●敍勳六等授瑞寶章

從七位勳七等 池部 政 次

●敍勳七等授瑞寶章

勳八等 山本 安三郎

(各通)

勳七等 內藤 啓三

●敍從七位

佐島 忠 夫

●依願囑託ヲ解ク (以上八月三十日)

囑託 植竹 善之

●平和條約實施委員被免 (八月三十日內閣)

大藏書記官 青木 得三

●依願免本官

外務屬 關口 存男

●分任出納官吏ヲ免ス

平和條約實施委員 瀨川 章 友

●分任出納官吏ヲ命ス

平和條約實施委員 井上 乙 彦

●任外務屬
給十級俸

與山 幸 藏

●臨時平和條約事務局勤務ヲ命ス (以上八月三十一日)

外務屬 與山 幸 藏

●任外務屬
給五級俸

外務通譯生 小野 清一

●大臣官房翻譯課勤務ヲ命ス
大臣官房翻譯課物品取扱主任ヲ命ス

外務屬 小野 清一

●依願免本官

外務書記生 和田 禎純

●在官滿二年以上ニ至リ退官ニ付金九十三圓支給 (以上九月一日)

元外務書記生 和田 禎純

●臨時平和條約事務局乙部物品取扱主任ヲ命ス

外務屬 月川 左門

●歳入徴收官ヲ命ス

外務事務官 柴山 雄三

●ペトロパブロフスキ在勤ヲ命ス

領事 山口 爲太郎

●臨時平和條約事務局勤務ヲ命ス

外務事務官 小林 龜久雄

●大阪府及兵庫縣下へ出張ヲ命ス

國際勞働理事會ニ於ケル帝國政府ノ代表者隨員 安達 房治郎

●歸朝ヲ命ス (以上九月二日)

副領事 荒井 金造

●歸朝ノ途次ニヨリスク及浦潮斯德へ立寄ヲ命ス (九月三日)

領事 佐々木 靜吾

- 旅順へ出張ノ件許可ス (九月四日)
 - 政務局第二課兼勤ヲ免ス
 - 奉天ニ滞在治療ノ件許可ス
 - 賜暇歸朝許可ス
 - 瑞西へ出張ヲ命ス
 - 安東及奉天へ滞在ノ件許可ス
 - 佛國在勤ヲ命ス
 - 歸朝ヲ命ス (以上九月六日)
 - 任外務書記生
給五級俸
 - ホノルル在勤ヲ命ス
 - 任外務書記生
月俸七十圓支給
 - 哈爾濱在勤ヲ命ス
 - 群馬縣下へ出張ヲ命ス (以上九月七日)
 - モントリール外一箇所へ出張ノ件許可ス (九月八日)
 - 外務省事務ヲ囑託ス
- | | |
|----------|--------|
| 總領事 | 森田 寬藏 |
| 囑託 | 吉川 潤二郎 |
| 外務通譯生 | 宮地 三吉郎 |
| 大使館參事官 | 丸毛 直利 |
| 副領事 | 弓削 哲三 |
| 外務書記生 | 本田 選 |
| 大使館一等書記官 | 佐分利 貞男 |
| 公使館一等書記官 | 井田 守三 |
| 外務通譯生 | 遠山 峻 |
| 外務書記生 | 遠山 峻 |
| 外務通譯生 | 樫村 武雄 |
| 外務書記生 | 樫村 武雄 |
| 外務屬 | 笠原 三郎 |
| 外務書記生 | 山下 芳郎 |
| 鐵道技師 | 幸川 茂助 |

● 外務省事務ヲ囑託ス
月手當四十六圓支給

● 臨時平和條約事務局勤務ヲ命ス (以上九月九日)

囑託 小川 德助

● 敏正ト改名ス (六月二十六日)

外務省巡查 遠藤 利助

● 養病歸朝許可ス

外務省巡查 岩佐 熊藏

● 巡查ヲ免ス (以上八月十二日)

外務省巡查 金 珠 英

(各通)

外務省巡查 佐藤 章庫

● 在間島總領事館警察署詰ヲ命ス

(各通)

外務省巡查 長田 伊勢藏

● 在間島總領事館局子街分館警察署詰ヲ命ス

外務省巡查 松村 恆三郎

● 在間島總領事館彈春分館警察署詰ヲ命ス

外務省巡查 桑原 謙吾

(各通)

外務省巡查 圓藤 謚次郎

● 在漢口總領事館警察署詰ヲ命ス

外務省巡查 磯貝 三郎

(各通)

在安東領事館通化分館警察署詰ヲ命ス

外務省巡查 田中伊之助
外務省巡查 佐藤恆次郎

(各通)

在福州總領事館警察署詰ヲ命ス

外務省巡查 太田德三郎
外務省巡查 加藤芳治

在濟南總領事館警察署詰ヲ命ス

外務省巡查 齋藤海

在厦門領事館警察署詰ヲ命ス (以上八月二十日)

外務省巡查 船見幸吉

御用有之滯京ヲ命ス

外務省巡查 柴田長次郎
外務省巡查 柴田長次郎

在天津總領事館警察署詰ヲ命ス (以上八月二十六日)

外務省巡查 俞昌禹

在鐵嶺領事館海龍分館警察署詰ヲ命ス

外務省巡查 宋宗鎬

在間島總領事館庫春分館警察署詰ヲ命ス (以上八月二十七日)

〔外務省巡查ヲ命ス
月俸三十六圓給與〕

臺灣總督府巡查 川添涉

在厦門領事館警察署詰ヲ命ス (以上八月二十八日)

外務省巡查 川添涉

在安東領事館通化分館警察署詰ヲ命ス (八月三十日)

外務省巡查 神原將雄

〔外務省巡查ヲ命ス
月俸三十圓給與〕

金昌洛

在間島總領事館頭道溝分館警察署詰ヲ命ス (以上八月三十一日)

外務省巡查 金昌洛

在上海總領事館警察署詰ヲ命ス (九月二日)

外務省巡查 吉川正利

在廣東總領事館警察署詰ヲ命ス

外務省巡查 山本次郎

在間島總領事館庫春分館警察署詰ヲ命ス

外務省巡查 木内貞輔

巡查部長ヲ命ス

外務省巡查 吳橋幸次郎

外務省巡查部長巡查 吳橋幸次郎

在安東領事館通化分館警察署詰ヲ命ス

外務省巡查 加藤達尾

賜暇歸朝許可ス (以上九月四日)

〔外務省巡查ヲ命ス
月俸三十圓給與〕

淺田長太郎

在安東領事館通化分館警察署詰ヲ命ス (以上九月六日)

外務省巡查 淺田長太郎

巡查ヲ免ス (九月七日)

外務省巡查 金昌任

● 巡查部長ヲ命ス

外務省巡查 大石建男
外務省巡查部長巡查 大石建男

● 在間島總領事館頭道溝分館警察署詰ヲ命ス

外務省巡查部長巡查 赤司庫太

● 在漢口總領事館警察署詰ヲ命ス

外務省巡查 志保澤喜多

● 在赤峯領事館警察署詰ヲ命ス

外務省巡查 田中庵

● 在上海總領事館警察署詰ヲ命ス

外務省巡查 山本良平

● 在吉林總領事館警察署詰ヲ命ス (以上九月十一日)

○ 死 亡

● 外務屬宮崎公明ハ八月二十九日死去セリ

● 外務屬宮崎公明在官中死亡ニ付判任官俸給令第十三條ニ依リ月俸三箇月分金百八十七圓五十錢ヲ九月二日其遺族ニ給與セリ

● 外務省巡查本木齡在職中職務ノタメ任所ニ於テ死亡セシニ付弔祭料給與令第三條ニ依リ金百六十九圓六十六錢竝外國在勤警部巡查任用及支給規則第十四條ニ依リ一時金百圓及任所ヨリ東京マテノ人馬船車料規定額金百五圓五十錢ヲ八月十六日其遺族ニ給與セリ

○ 發 著

● 珍田特命全權大使英國ハ八月二十一日任地出發歸朝ノ途ニ就ケリ

● 西特命全權公使暹羅國ハ八月二十日任地出發歸朝ノ途ニ就ケリ

● 有吉特命全權公使瑞西國ハ十一月二十六日東京出發赴任ノ筈

● 總領事林久治郎(福州)ハ九月四日東京出發赴任セリ

● 總領事太田喜平(廣東)ハ八月十一日任地出發九月二日賜暇歸朝セリ

● 總領事鈴木榮作(香港)ハ八月十六日任地出發同三十日歸朝セリ

● 領事森浩(里馬)ハ九月二十三日東京出發赴任ノ筈

● 領事山口爲太郎(ベトロバブフス)ハ九月二十四日横須賀出發赴任ノ筈

● 領事緒方整肅(チタ出張)ハ八月十一日哈爾濱出發歸朝セリ

● 領事佐々木靜吾(滿洲里出張)ハ九月四日哈爾濱出發同十日歸朝セリ

● 領事桑島主計(シカゴ)ハ八月十一日著任セリ

● 大使館一等書記官河合博之(佛國)ハ十月十六日任地出發歸朝ノ筈

● 公使館一等書記官高橋清一(暹羅國)ハ八月六日任地出發九月八日賜暇歸朝セリ

● 公使館三等書記官村井倉松(支那)ハ九月七日任地出發歸朝ノ途ニ就ケリ